

## ひっ迫する廃プラ処理、できることは身近にも

### ◆廃プラスチック類の処理が首都圏を中心にひっ迫している

2017年末から中国で実施されている廃プラスチック輸入禁止措置（ARC Watching No. 284「再構築が迫られるプラスチックリサイクル体制」を参照）などの影響によって、廃プラスチック類の処理が首都圏を中心にひっ迫している。

環境省が19年2月末の処理状況を尋ねたアンケートの結果によると、輸入禁止措置の影響による不法投棄や生活環境の保全上の支障は生じていないが、処分業者による新規取引や受入の制限、処理費用の値上げが起こっている。また、47都道府県と75の廃棄物の処理及び清掃に関する法律（廃掃法）が定める政令市の約3割で、処理業者の廃プラスチック類の保管量増加が確認されており、上限超過などの保管基準違反が増えて改善命令が下される事態も生じている。特に、保管量増加の回答が4割を超えた地域は、東北、中部、関東地方であった。

一方、アンケートに協力した全国187の産業廃棄物処理の優良認定事業者のうち、処理量が増えたと回答した中間処理業者は約5割に上り、焼却施設では約7割が、それ以外の中間処理施設では約6割が、8割以上の稼働率であると回答した。また、適正費用の処理料金への反映は約4割の業者が十分でないとしており、処理円滑化を妨げる課題として、処理先の確保が困難になったことを挙げている。

### ◆緊急対応として、一般廃棄物処理施設で廃プラスチック類の処理を検討

原田環境相は19年5月17日の会見時の質問に答えて、緊急対策として、事業所から産業廃棄物として排出される廃プラスチック類を、家庭ごみなどの一般廃棄物の処理施設で受け入れることができないか、施設を所管する自治体などに相談しながら検討を進めていることを明らかにした。また、域外からの産業廃棄物を受け入れる広域的処理を自治体に促す考えも、環境省は示している。

廃掃法は、排出事業者の責任として、廃プラスチック類を自ら処理しない場合、許可を受けた産業廃棄物処理事業者へマニフェストを交付して委託することを定め、委託契約の締結や処理の実地確認など、委託基準の順守を課している。事業系一般廃棄物の処理とは異なることから、具体的な施策の発表が待たれる。

◆エフピコは、「トレーtoトレー」など、容器包材のリサイクルを進める

使用済みプラスチックから元と同じ製品が製造できれば、廃棄物は減らせる。

食品容器の製造販売を行うエフピコは、スーパーの容器回収ボックスなどから集められた発泡スチロールトレーや透明容器（素材：PET、ポリスチレンなど）を、使用済みの飲料用PETボトルとともにリサイクル工場で引き取り、素材毎に選別して、ポリスチレンから発泡スチロールトレーを、PETから透明容器を製造している。発泡スチロールトレーのリサイクルは90年から、透明容器の引き取りは08年から、PET素材の透明容器への再生は10年から行っており、製造されたトレーや透明容器には、日本環境協会のエコマーク認定の証しである右図のラベルが付く。



図 エコマーク

再生は繰り返し行うことができ、これまでの取組で節約できた原油の量は、約6億1,377万リットルに及ぶ。また、再生製品のCO<sub>2</sub>排出量は原油から製造した製品より3割少なく、17年度に削減できたCO<sub>2</sub>量は約11.3万トンと推計される。容器回収拠点は全国に9,150ヵ所以上（18年3月）あるが、回収される使用済みトレーは流通量の3割程度である。エフピコは更なる回収率の向上を期待している。

◆ポリエステル長繊維への再生には、回収PETの品質が重要

再生ポリエステル繊維のうち、短繊維は不織布などに用いられるが、より広範囲の衣類に展開するには長繊維に再生することが好ましい。そのためには、汚れが少ない、純度の高い回収PETボトルが必要となる。事業を進める東レや帝人フロンティアなどは、高品質の回収PETボトルをいかに確保するかに腐心している。

◆使用済みプラスチックを有効に活用するために、私たちができること

回収される使用済みプラスチックに混ざる異物は、リサイクルの妨げとなる。回収対象のプラスチックであることを確認した上で、洗ってよく乾かしたものを、専用の回収ボックスに入れるようにしたい。また、印刷がある透明容器では印刷箇所を切り取るといった、ひと手間も望まれている。（エフピコ 回収に関するお願い [https://www.fpco.jp/esg/environmenteffort/fpco\\_recycle/appeal.html](https://www.fpco.jp/esg/environmenteffort/fpco_recycle/appeal.html)）

我々のちょっとした気遣いでごみは資源になり、リサイクルの循環が円滑に進む。生活者として、できることから始めてみてはいかがだろうか。 【袴家淳雄】